

平成26年度「岐阜県ふるさと教育週間」実施報告書

学 校 名	岐阜県立中津高等学校		
実 施 期 間	平成26年10月27日（月）～11月7日（金）		
実 施 概 要	<p>①保護者や地域住民及び教育関係者に対して、5限以降の授業及び部活動を公開した。</p> <p>②保護者を対象として、外部講師による進路情報と子育てに関する講演会を実施した。</p> <p>③授業参観者全員及び教師と生徒の授業評価を実施した。</p>		
実 施 内 容	学習・取組の分野 <input type="checkbox"/> 自然 <input type="checkbox"/> 歴史 <input type="checkbox"/> 文化 <input type="checkbox"/> 産業 <input checked="" type="checkbox"/> その他		
	公開の方法 <input checked="" type="checkbox"/> 授業公開 <input type="checkbox"/> 成果発表 <input type="checkbox"/> 交流活動 <input checked="" type="checkbox"/> 講演会等  <input type="checkbox"/> 地域行事等参加 <input type="checkbox"/> その他		
来 校 者 数	保 護 者	5 4 人	計 5 7 人
	地 域 関 係 者	3 人	
実 施 状 況	<p>本年度は、授業公開と進路講演会の2つを実施した。事前の連絡は、保護者には案内状を1ヶ月前に送付し、生徒を通じた連絡を4回行った。また地域住民には、本校のホームページや地元での各種会合、及び同窓会を通じて参加を呼び掛けた。授業公開は、5限目以降の授業及び全ての部活動を対象として実施した。</p> <p>1 授業公開週間                  地域住民と保護者に対する学校理解と授業改善を目的として、実施した。さらに教員の授業スキル向上を目的として、教員同士の授業参観も行った。                  授業終了後、生徒・保護者・全教員による授業評価を実施し、生徒理解及び保護者理解を進めた。また、期間中、生徒の知識構築過程の再確認と学び直しに関するスキル向上と認知過程にかかわる研究を深めるため、小・中学校の授業参観をした。</p> <p>2 進路講演会                  第2日目の28日（火）6限に、保護者を対象として、三洋電子工業株式会社取締役会長の青木姫路子氏による「コーチング理論による、親と子のコミュニケーション術」という題目の講演会を実施した。                  この企画は、講師と保護者・学校双方向の相互連絡を密にすることにより、参加者の内容理解を深めることと、講演者の演出を仕組みやすくして実施した。                  当日の周辺地区の交通事情の悪化防止のために、保護者には公共交通機関を利用した来校を呼び掛けた上で、事前に駐車場案内を昨年度より詳細に行った。</p>		

成果及び課題

1 成果

全体の参加者は、57名であった。

① 講演会

出席者は54名であった。参加者アンケートによると、「質問内容の募集」「保護者の考えの受け入れ」が事前になされたため講演会に意欲的に参加出来た(95%)との評価をいただいた。昨年度より参加者は減少したが、「青年期における生徒とのコミュニケーションに対して恒常的に苦悩していた。しかし今回の講演による様々な意見提示や示唆により、これからの関係構築に自信を持てた」という多数の感想(95%)をいただくなど、充実した講演会となった。

尚、昨年度同様講師からは、「事前連絡により、全体のニーズが把握でき、講演内容を俯瞰でき、また、保護者の反応もよく話しやすかった」とのご意見をいただいた。今後もこの点に考慮した教育週間に関わる取組みを進め、保護者の不安解消や学校理解を深めていきたいと考える。

② 授業参観

アンケート回答によると、生徒の素直な反応や明るく積極的な授業態度に対する好意的評価が95%に達するなど、85%の保護者が、高校の授業実態や生徒の様子に満足していた。一方生徒も、授業参観によって授業態度の見直しができて良かったとの自己評価が95%に達するなど、全体を通して教育的意義のある企画となった。

2 課題

保護者アンケートによると、授業理解重視の意向が強く、授業が単調ではないか、また、教えすぎではないかとの指摘を受けた。今後は授業改革と学校全体の意識改革を一層進め、全校体制でこの点の改善を図っていきたい。



図1 講演会の様子



図2 公開授業の様子